



コロナ禍における小児医療 ～受け身の診療からの変革をめざして～ 小児内科・阿部 祥英



小児内科 准教授
阿部 祥英

世界中がコロナ禍にあり、大人だけでなく、小さな子どもたちもマスクを着けることが当たり前になりました。コロナウイルス感染症に対する不安はなかなか払拭されませんが、子どもたちは大人が見習わなければならないほど上手に手洗いもします。それらの甲斐もあり、咳やくしゃみを介して広がる「かぜ」がほとんど流行しなくなりました。今シーズンの当こどもセンターでは、RSウイルス感染症やインフルエンザで入院を要する事例はありません。また、それらの呼吸器感染症をきっかけにした喘息発作に苦しむ子どもたちも減りました。皆さんの取り組みがコロナウイルス感染症のみならず、多くの感染症の予防に役立つことを大規模な研究で実証したような現象です。驚くべき事実で大変に素晴らしいことだと思います。

一方で、感染症を主体に対応してきた我々の診療内容が一変し、当こどもセンターの小児科医は自身の在り方を考えなくてはなくなりました。コロナウイルス感染症のお子さんの診療は特定の医療機関が担ってくださっているうえ、前にも述べたように入院加療を要する子どもたちがとても少なくなったからです。コロナウイルス感染症以外で苦しむ子どもたちの受け皿になるべき当こどもセンターの入院病床は「コロナ禍前線」の医療従事者には申しわけないほどに空床のままです。地域の子どもたちが元気なことは大変に喜ばしいのですが、我々の診療が病気の子どもたちを待つような「受け身」のものだったことに気づかされました。当こどもセンターの技量を現状でどのように生かすか、地域の子どもたちの健康と病気にどのように貢献できるかを以下のように模索しています。



< 1. 食物アレルギー児の食物負荷試験 >

感染症予防によって、アレルギーまでもが改善するわけではありません。当こどもセンターでは毎週木曜日と土曜日入院病床で食物負荷試験を行う準備が整っています。食物アレルギーを確定診断し、食物除去を不必要に長期化させないようにご協力したいと思っておりますので、食物アレルギーが気がかりな方はご相談ください。



昭和大学江東豊洲病院

第82号のトピックス

- ・巻頭言(小児内科)
- ・当院の診療体制について
- ・「ご意見・ご要望」について
- ・分娩予約・妊婦健診予約のご案内について
- ・編集後記

< 2. 弱視のリスクを持つ子どもたちの早期発見 >

「弱視とは眼球に器質的異常がないか、あってもそれだけでは説明できない低視力」と定義されます。

「弱視」は適切な時期に治療すると良好な視力を得られる可能性が高く、一般的な視力検査ができる時期よりも前に原因を発見できれば、予防と早期治療につながります。当こどもセンターでも近隣のクリニックの先生方※を見習って、SpotTM Vision Screener(スポットビジョンスクリーナー)による目の健診ができるようにいたしました。お子さんに痛みが生じる検査ではありません。「目にも優しい小児科医」として当院の視能訓練士や眼科医とも連携して治療が必要なお子さんに対応いたします。お子さんの目の健康が気になる方はご相談ください。

※野末富男：25人に1人は弱視危険因子を持っている。『小児科臨床 2019』

野末富男：スポットビジョンスクリーナーによる弱視のスクリーニングは定期的に行う必要がある。『小児科臨床 2020』



スポットビジョン
スクリーナー

< 3. 在宅人工呼吸療法を要する児のケア支援 >

在宅で人工呼吸療法を要するお子さんは日常的にご家族による高度なケアを要します。他施設でのショートステイが利用できない時やお母様のご出産などにより、一時的にご自宅でのケアが難しくなる場合はご相談ください。人工呼吸器管理ができる当こどもセンターの病床は限られていますが、我々のできる範囲でケアのご支援を提供するようにいたします。

我々は「受け身」ばかりの診療を変え、地域の子どもたちの健康やケアの支援に役立つため、少しでも「能動的」に振る舞いたいと思っております。

当院の診療体制について

(1) 当院の現在の状況

<入院について>

入院される全ての患者さんに、入院前の体温測定、症状の確認、PCR検査等で、陰性を確認したのち入院していただいています。

<外来について>

通常と変わらず、紹介患者の受入れをしています。

<救急外来について>

一般の救急患者については、通常と変わらず受入れをしています。

(2) 新型コロナ感染症（疑い）患者の受入れについて

保健所・相談センター・医療機関からの紹介のみ受入れをしています。

月曜日～金曜日に「COVID19 疑い外来」を実施しています。

<受診手続き>

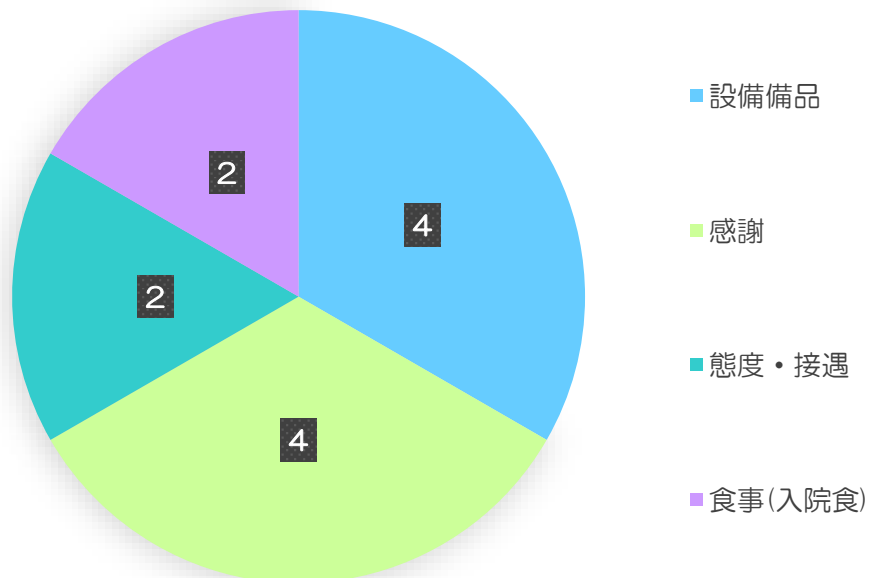
医療連携室にお電話いただき、「COVID19 疑い外来」のご予約をお取りします。

電話：03-6204-6130

「ご意見・ご要望について」

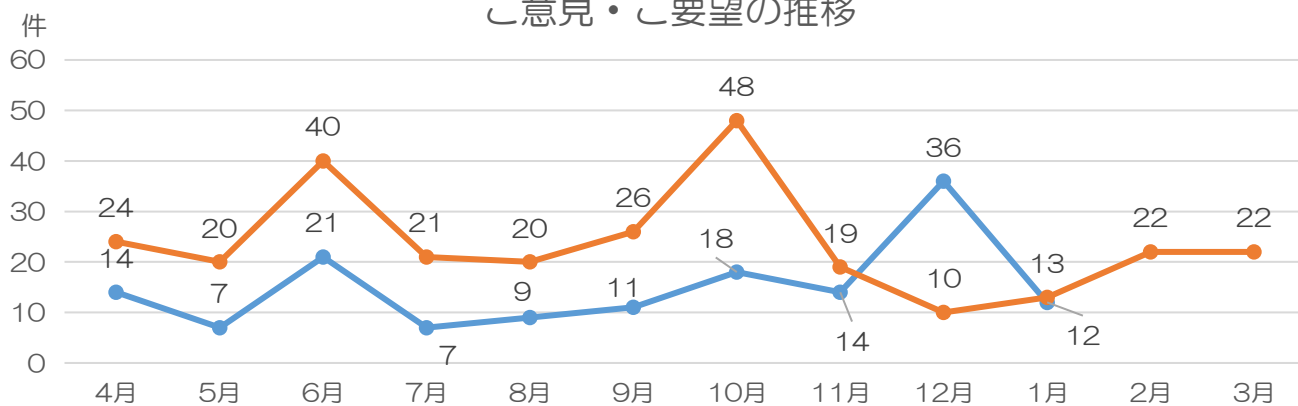
ご意見・ご要望	回答・改善策等
各病室の入口に消毒液が欲しい。	<p>この度は貴重なご意見ありがとうございます。当院では、各病室に手洗い場を設置しているため、病室入口へは手指消毒器を設置していません。また、各病棟の入口もしくはエレベーターホールへ手指消毒器を設置していますので、そちらをご利用くださいますようお願いいたします。ご理解とご協力のほどお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：クオリティマネジメント課</p>
患者にとって一食一食は楽しみだと思うので、食事にもう少し工夫が欲しいです。彩りや味付け等バラエティーに富んだメニューを期待しています。	<p>ご意見ありがとうございます。お食事は食事摂取基準(栄養量・栄養素の摂取比率)に沿いバランスを考え作成していますが、制限のある食種によっては同じ食材が毎食出る、彩り・味に変化が無いなどの内容がみられるため、今一度献立の見直しを行って参りたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：栄養科</p>
感謝	回答
<p>コロナ禍の中、担当の先生またスタッフの皆様、看護師さんの限りなき優しさに心から感謝し、嬉しく思いリハビリも頑張る事ができました。同部屋の方達も、お陰で明るく過ごす事が出来たと一同感謝しています。ありがとうございました。</p>	<p>この度は当院整形外科、8階病棟スタッフへの貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。日々昭和大学が推進します多職種でのチーム医療を行い、患者さんに最適な医療を提供できるように努めています。また、入院生活を少しでも快適に過ごしていただけるよう日々心掛けています。頂いたご意見をスタッフ一同で共有させて頂き、今後も最高の医療をご提供できるように日々邁進し、患者さんの前向きな気持ちに寄り添えるようスタッフ一同精進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：整形外科・看護部</p>

令和3年1月分
ご意見・要望の内訳 総件数 12件



「ご意見・ご要望について」

ご意見・ご要望の推移



分娩予約・妊婦健診予約のご案内について

分娩予約・妊婦健診予約のご相談を受け付けています。

○施設・費用に関するお問い合わせ

- ・受付時間：14：00～16：00(月～金)
- ※土日・祝日、創立記念日(11月15日)、
年末年始(12月29日～1月3日)を除く
- ・電話番号(直通)：03-6204-6113



昭和大学江東豊洲病院

分娩予約・妊婦健診予約のご案内

詳細は、右のQRコードから当院のホームページをご確認ください。

編集後記 産婦人科・大槻 克文

現在、新型コロナウイルス感染症対策として2度目の緊急事態宣言が発出され、その期間が延長されたところです。そんな中、心と気になった単語で「我慢」というものがありました。語源を調べると実は仏教用語である“煩惱”の一つで、「強い自我意識から生まれてくる慢心」、つまり自分の存在に執着し(我執)、その我執から自分を高く見て他人を軽視する心「七慢」の一つを表すようです(注：文献等によって解釈は異なるようです)。最終的にはこれらを捨て去ることで、「ありのままを受け入れること」になれば良いようですが、人間には何らかの「慢」が常に存在しているのかもしれない。現在のコロナ渦においては、今までの日常が存在しなくなり、非日常を受け入れることができたとき、「我慢」という言葉が不要になるということでしょうか。さらに、周囲の方々に対する「思いやり」「心配り」を忘れずに過ごせるようになることも「我慢」という言葉を遠ざけてくれる気がしました。とりとめの無い編集後記ですが、一刻でも早く新型コロナウイルス感染症が収束し、さらに皆様が「我慢」をしなくても良い日常が戻ることを目指し、診療にさらに励むことといたします。



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

